

岐阜市内の畜産農家で「牛ボツリヌス症」が疑われる事例が発生しました。
日頃からの飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

*** 本症の人への感染の恐れはありません。**

【概要】

- 1 発生場所 岐阜市柳津町
- 2 発生状況 飼育されている肉用牛約200頭の内、45頭が死亡
- 3 鑑定結果 検査を実施した結果、牛特有のボツリヌス菌の毒素遺伝子を確認
- 4 対応内容 他の牛舎への拡散を防ぐため、発生牛舎からの牛の移動の自粛、牛舎・堆肥及び農場周辺の環境等の消毒の徹底

(参考)

牛ボツリヌス症とは…

- ・ボツリヌス菌*が産生する毒素を含む飼料などを摂取することにより発症します。
- ・野生小動物の死体の混入や品質の悪いサイレージや乾草などの摂取からの感染もみられます。
(腐敗動物、変敗植物の中で増殖し、毒素が産生されます。)
- ・四肢、下顎などの筋肉の麻痺が特徴です。
- ・食欲不振、起立不能、突然の死亡などがみられます。

*ボツリヌス菌は酸素がない環境でのみ増える嫌気性菌であり、増殖に伴って毒素を産生します。

発生防止のために

・ 飼養衛生管理基準を遵守し、
飼料や環境の衛生管理に努めましょう。

- ・ 野生動物(特にカラス)などの畜舎への侵入防止
- ・ サイレージの適正な品質調整
- ・ 飼槽・水槽の点検・清掃
- ・ 適切な堆肥の処理

・ 有効な消毒薬

- ・ 塩素系(クレンテ、ビルコンなど)
- ・ アルデヒド系(グルタなど)
- ・ ヨード系(リンドレスなど)



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp